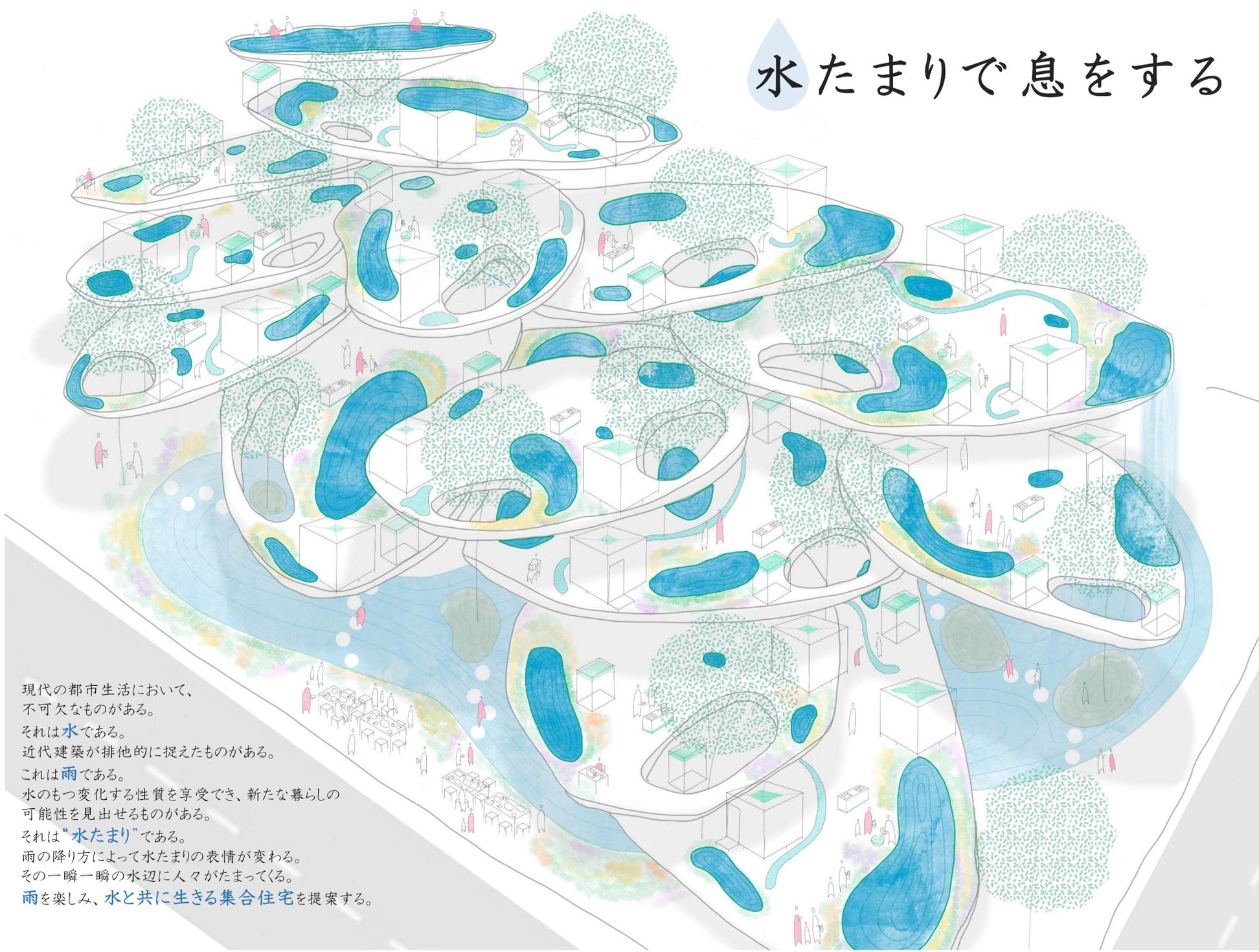


水たまりで息をする



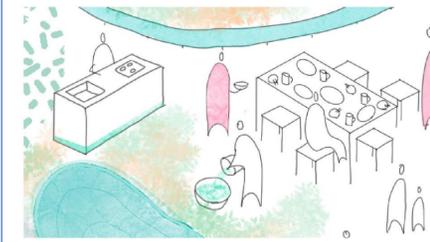
現代の都市生活において、
不可欠なものがある。
それは**水**である。
近代建築が排他的に捉えたものがある。
それは**雨**である。
水のもつ変化する性質を享受でき、新たな暮らしの
可能性を見出せるものがある。
それは**“水たまり”**である。
雨の降り方によって水たまりの表情が変わる。
その一瞬一瞬の水辺に人々がたまっていく。
雨を楽しみ、水と共に生きる集合住宅を提案する。

00. 仮想敷地

仮想敷地は、長崎県島原市。
長崎県島原市は、城や武家屋敷など旧城下町の街並みが残る島原半島の山と海など雄大な自然に囲まれた中心都市である。
また、本仮想敷地は日本の中で平均降水量が高い町であり、**雨水を地域全体で利用する伝統**がある。
このような条件から水と地域の人々との関係性が高いためこの都市を選定した。



01. 水をく暮らし



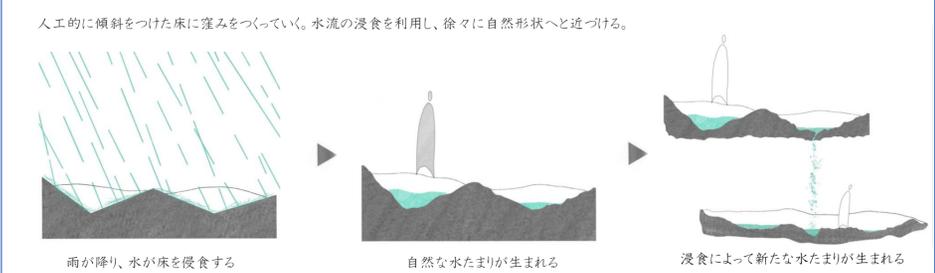
固く結ばれた地域交流には、共通の行為が存在した。
例えば、井戸で水をくみ、井戸端会議が広がっていた。
私達は、水をく暮らしを提案し、コミュニティの交流をフラットに。

02. 水たまりの可能性

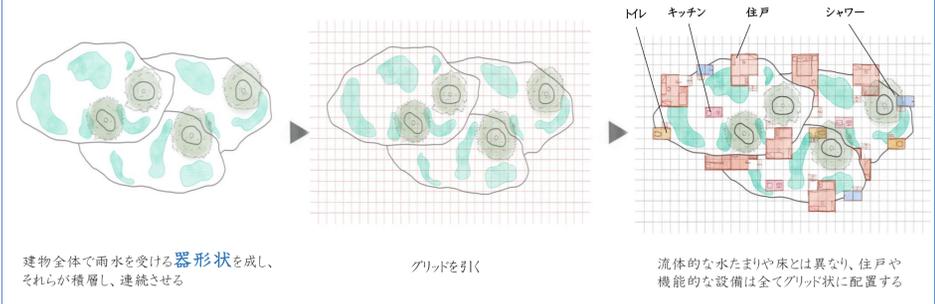


水たまりは、生活用水となり、生命の更新を促し、生まれ方や消え方も異なり、
一つとして同じものは存在しない**美しき一瞬の儚さ**をもつ。

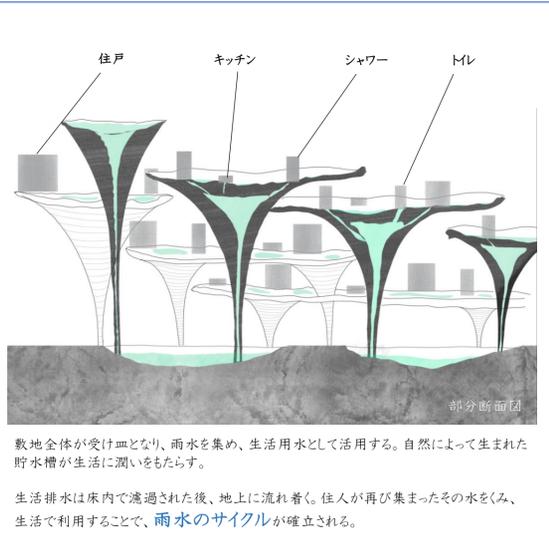
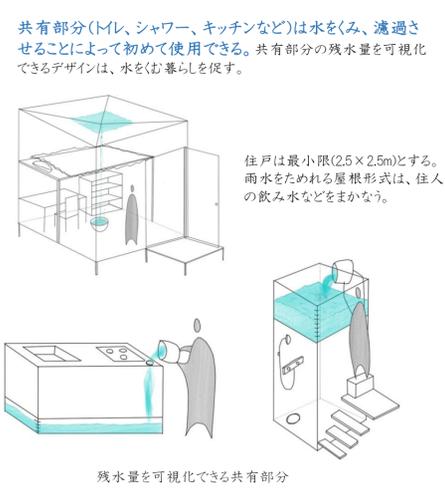
03. 水たまりの形成ダイアグラム



04. 平面ダイアグラム



水たまり×生活



水たまり×風景



生まれる循環

